奈良市民だより

No. 643

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。

奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助け合いましょう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。

市民のうごき

10月15日現在(前月比増)

人口　344,171人（339人）

男　165,732（151）

女　178,439（188）

世帯数　113,389（163）

博覧会のフィナーレを飾る閉会式！「今日の日はさようなら」の大合唱が秋の宵空に響いた

奈良県百年・市制九十周年を記念し、市内四会場で繰り広げられていた「なら・シルクロード博」が百八十三日におよぶ会期を終え、十月二十三日盛況のうちに幕を閉じました。

「民族の英知とロマン」をメーンテーマに、日本人の文化と心の源流を訪ねる国際的な博覧会として、さまざまな話題を集め、訪れた人に夢とロマンを与えたシルク博。

シルクロードの終着駅・奈良を舞台に生まれた数々の感動の想い出は、多くの人の胸に深く刻み込まれ、私たちの未来を、そして平和を育む大きな礎となることでしょう。

SILK ROAD '88

さようなら・歴史的イベント

680万人の実り残し「シルク博」閉幕

歌声が涙声に！　183日の思い出がこみあげる

シルク博最後の日となった十月二十三日、秋晴れに恵まれ、各会場には朝早くから家族連れや若いカップルらが続々とつめかけ、会期中最高の十三万千三百四十人の観客でにぎわいました。各会場の人気パビリオンには、一時間以上も入館を待つ長蛇の列が終日続き、広い会場も人・人・人で埋めつくされました。

シルク博の総入場者も、最終日の大入りでグーンと伸び、最後には、予想入場者を二十一万八千人も上回る六百八十一万八千八百三十三人となりました。

この日、奈良公園に夕暮れ迫る中、午後四時から春日野会場の催事場「ビッグ・パオ」では、博覧会のフィナーレを飾る閉会式が行われました。協会関係者やこの日の一般観覧客が見守る中、南浦純一郎・シルク博協会事務局長の開式宣言を合図に、さわやかな笑顔で博覧会を盛り上げてくれた三十のパビリオンのコンパニオンが色鮮やかなユニホーム姿で登場。

そして、総合プロデューサーの作家・井上靖氏が「〝日本の奈良〟をして一躍シルクロードの終着駅〝世界の奈良〟とすることに成功しました。これからは、シルクロードの研究拠点となることを期待します」とあいさつ。また、上田繁潔・シルク博協会会長が成功の歓びを述べた後、「シルク博を契機にシルクロード沿線諸国の友好と文化交流を深め、シルクロードの文化と歴史の研究の拠点となるよう努力します」と記念宣言しました。

出展・協賛の全企業に感謝状が贈られた後、テーマ館などに復元された莫高窟に寄せられたおさい銭約百六十万円が西田栄三・シルク博協会副会長から「文化財保護振興財団」に寄贈されました。同振興財団はシルク博テーマ館のシンボル陶板「飛天群舞図」の作者で中国・敦煌への心酔画家平山郁夫氏を中心に日中両国の有志で設立したもので、莫高窟の永久保存を念願した機関です。

続いて、シルク博開会に先がけて全国の小学生たちが丹精こめて育てあげた蚕から取ったまゆから糸をひいて会期中毎日のように織り上げた「友好の旗」（幅一・四以、長さ八以）が、まつぼっくり少年少女合唱団の歌う「まゆこの夢」のかわいいメロディーに迎えられ、福島県の高野小学校や飛鳥小学校の子らに捧げられてステージに運び込まれると、会場から大きな拍手が沸き起こり「ひとりひとりのまゆ」の運動の成果をたたえました。

ステージ中央のオーロラビジョンに会期中の想い出を呼び起こす数々のシーンが映し出され、そして華やかな博覧会を陰でしっかりと支えてくれた警備、清掃、ボランティアなど舞台裏の人たちが紹介されると、会場からはひと際大きなねぎらいの拍手が贈られました。

いよいよ閉会式はフィナーレへ。博覧会の終わりを告げるトランペットの音が紅葉を始めた春日野の森に反響、ステージではこれに呼応するように無数のペンライトが大きく揺れ、五千個の風船と紙ふぶきが宵闇のしじまに吸い込まれる中、全員で「今日の日はさようなら」を大合唱。百八十三日間にわたった古都の歴史的イベント・シルク博の幕は名残を惜しみながら閉じられました。

このあと登大路・飛火野・春日野・平城宮跡の各会場では、午後五時の時報を合図に閉幕宣言が発せられ、ゲート前では目に涙をいっぱいためたコンパニオンがペンライトを振りながら最後の別れを惜しみました。

中国旅行やペルシャ絨毯などの賞を射止めた660万人目の入場者 青木 俊憲さん（33歳＝大和高田市）親子＝10月21日

発行＝奈良市役所広報公聴課（奈良市二条大路南一丁目１番１号）　電話（34）1111番　〒630　毎月１日・15日発行　全戸配布　　印刷＝奈良新聞印刷㈱

歴史ある町並み紹介のガイドブック

京・津・奈三市が共同発行

三市で組織する京・津・奈広域観光連絡会議が、京都・大津・奈良を結ぶ広域観光事業として、昨年度好評を博した「小倉百人一首ガイドブック」に引き続き、今年は「歴史の町並みを訪ねて――京都・大津・奈良」のガイドブック（写真）を発行しました。

このガイドブックは、A5判・64ページで三市各編に編集し、それぞれグラフィック、イラストマップ、年中行事・モデルコースの案内を満載したユニークなもの。三市の挙げた「歴史ある町並み」はそれぞれつぎの町々です。

◎京都市＝東山八坂、祇園新橋、嵯峨鳥居本、上賀茂社家町

◎大津市＝堅田、比叡・坂本、膳所

◎奈良市＝旧奈良町・元興寺界わい、高畑・清水町界わい、北御門・雑司町界わい。

希望者には来年三月三十一日まで三市の各観光課（奈良市は〒630、二条大路南一丁目一―一、☎㉞一一一一）と各観光案内所で無料で配布しています。

町並み写真コンテストも

12月23日まで 3市で作品募集

京都・大津・奈良を結ぶ広域観光事業として三市で上記の通り今年度共同実施するガイドブック「歴史の町並みを訪ねて」の発刊に合わせて、つぎのように「歴史の町並み写真コンテスト」を共同で実施し、その作品を募集しています。

【応募部門】A部門＝歴史・文化の香り高い町並みを表現したもの　◎B部門＝町並みを背景にモデルを配したもの

【撮影日時】A部門＝十一月一日～十二月二十日　◎B部門（撮影会）＝京都市は十一月二十三日（祝）午後二時～三時▽大津市は十一月二十日（日）午後一時～三時▽奈良市は十一月十三日（日）午後一時～三時（元興寺極楽坊集合）　※京都市は往復はがきで同市宣伝課（〒606、左京区岡崎最勝寺町一三京都会館内、☎〇七五―七五二―〇二一五）へ参加申し込みをすること（定員百人）。

【撮影場所】A部門＝京都市は東山八坂、祇園新橋、嵯峨鳥居本、上賀茂社家町、鞍馬、西陣、三条通、伏見酒蔵の界わい▽大津市は堅田、比叡・坂本門前町、膳所、下町、葛川、山中町、下阪本、尾花川などの界わい▽奈良市は旧奈良町・元興寺、高畑・清水町、北御門・雑司町、西の京、東大寺、多門町、白毫寺町の界わい　◎B部門＝京都市は祇園新橋▽大津市は坂本日吉大社参道律院前付近▽奈良市は旧奈良町界わい。

【作品規格】カラー・白黒プリント（四ツ切から全紙まで）、カラースライド（6×6サイズ以上）。組写真は四枚以内

【賞】A部門・B部門ごとに＝推薦一点（賞金十万円）特選三点（各賞金五万円）準特選五点（各賞金一万円）、ほかに入選若干点

【応募】部門別、題名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、撮影データを書いた応募票を作品裏に貼付して、十二月二十三日までに必着で京都市宣伝課、大津市観光物産課、奈良市観光課のいずれかへ。

部落解放へ「文化祭」

八隣保館が趣向を凝らし

部落解放に向け、さまざまな活動に取り組んでいる市内の八隣保館で、今年も十一月に各館それぞれのテーマにもとづき文化祭を開きます。

文化祭は、同和地域の人たちが自ら学習してきた成果などを発表するものです。市が進めている「あらゆる差別をなくす」取り組みについての説明や展示もあります。

「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす」ことは、市民みんなの幸せにつながることになります。多数ご参加ください。

【杏中隣保館】とき＝一日～三日▽テーマ＝「二十一世紀へ部落差別をもちこまないために」▽内容＝（一日）前夜祭、映画「対馬丸」（二日）解放へのつどい▽問い合わせ＝☎㊶二〇二九

【八条隣保館】とき＝五日～七日▽テーマ＝「許すな差別！広げよう平和の輪を！」▽内容＝（五日）映画「はだしのゲン」（六日）映画「植村直巳物語」、学習発表▽問い合わせ＝☎㊶二〇〇九

【古市隣保館】とき＝十一日～十三日▽テーマ＝「部落差別をはじめあらゆる差別をなくすために」▽内容＝（十二日）映画「さくら隊散る」（十三日）学習発表会▽問い合わせ＝☎㊶二二三六

【梅園隣保館】とき＝十二・十三日▽テーマ＝「豊かな未来をめざし反差別の輪をひろげよう」▽内容＝（十二日）映画「人間の街」▽問い合わせ＝☎㉓三四四八

【杏南隣保館】とき＝十二・十三日▽テーマ＝「部落差別をはじめあらゆる差別をなくすためにより多くの人びととと連帯して」▽内容＝（十二日）精華小学校五・六年生による劇（十三日）精華地区農家による野菜即売会▽問い合わせ＝☎㊶二〇一六

【東之阪隣保館】とき＝十二日～十四日▽テーマ＝「差別をなくすため、自ら実践しよう」―進もうみんなで▽内容＝（十二日）前夜祭、講演「自信をもつ子育てのすすめ」講師三木善彦氏▽問い合わせ＝☎㉒七七七六

【西之阪隣保館】とき＝十三・十四日▽テーマ＝「部落解放の展望を切り開く学習と行動を」▽内容＝（十三・十四日）映画「信濃天露伝記」「核戦争」▽問い合わせ＝☎㉓四三五六

【横井隣保館】とき＝十八日～二十一日▽テーマ＝「教育・文化そして部落解放へ」▽内容＝（十九日）映画「はじめての手紙」（二十日）学習発表会▽問い合わせ＝☎㊶一〇四〇

新自治会長

敬称略　順不同

【町内自治会長】法蓮東垣内町＝八家馨▽大宮町三丁目第二＝高瀬久美子▽西ノ京町＝木寅義太郎▽南神殿町＝加藤大策▽東紀寺町一丁目第二＝木村優

くらした見つめ くらした高めよう 2

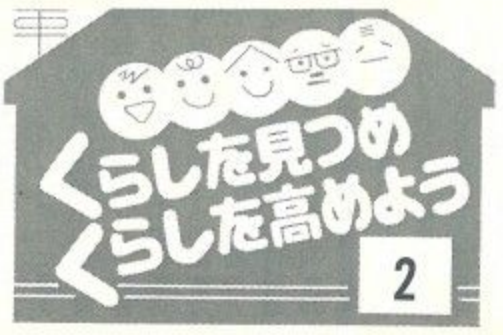
「怒り」「憤り」の心をそだてる

「近ごろの子どもは、あまりけんかをしなくなった」ということをよく聞きます。ほんとうにそうでしょうか？

保育所や幼稚園、小学校の先生方に聞いてみますと「そう、昔よりへっています」とか「少なくとも激しいけんかはしていませんよ」という答えがやはり多くなっています。汗をかき、大声をあげて泣き叫ぶけんかが少なくなっているのは事実のようです。子どもたちのものわかりがよくなったのか、よすぎるのか。まさか「けんかなんかしてはエネルギーの損だ」とかいう大人のような考え方になっているのではないでしょう。

私たちはそうした現象をどうとらえていけばいいのでしょうか。子どもたちの生活感情の中から「怒り」とか「憤り」というものが薄れてきている反映ではないでしょうか。それだけ子どもたちの心がやさしくなっているのでしょうか。そうとは考えられません。一つにはぶつかり合いの不足があげられます。友だちとのぶつかり合いによって生じた感情体験は、人として生きていくのに多くの事を教えてくれるし、人間性豊かな感性を培うのに大きな部分をしめるのではないでしょうか。前回の「カニの横ばい」の話にも書きましたが、自分の出来ないことを子どもに強いるなんてもってのほかです。「長いものにはまかれろ」とか「流れにさおさせば流される」という言葉がありますが、積極的な人生を送るという意味から、自分の思ったことや感じたことを素直に言葉や動作で表現する時期です。この幼児期に友の喜びを自分のものとし「悲しみ」「怒り」「憤り」「苦しみ」などを自分の心の痛みとして共有できる人づくり、感性を培うことが大事ではないでしょうか。

人間が人間らしく生きる権利は人間として一番大事な事であるし、尊ばなければならないものであります。しかし現実には子どもたちが発育していく日常生活の過程の中で歪められている内的な部分があるのです。自分を大切にすると共に、他人を大切にしていく人権意識をおたがいに育てていきたいものです。



そんなことをいう大人の中に人間的な感受性や共感能力が欠けてくると人権感覚に不均衡をもたらしてくるのです。そうした精神的に荒廃したものをとり戻す営みを、今私たちは身の回りのくらしの中から共に考えていく必要があるのではないでしょうか。

とりわけ幼児期は、自分の思ったことや感じたことを素らしさを育くむ精神的土壌を欠落させるものにつながっていると思われます。

子どもたち（大人も）の中に人間的な感受性や共感能力が欠けてくると人権感覚に不均衡をもたらしてくるのです。そうした精神的に荒廃したものをとり戻す営みを、今私たちは身の回りのくらしの中から共に考えていく必要があるのではないでしょうか。

とりわけ幼児期は、自分の思ったことや感じたことを素

こういった昔からの伝統的な子ども観はかえり見られず、幾世代にわたって守り育てられた自然は、子どもたちのくらしにとって遠い存在になってしまっている。こうしたことは子どもらしさを育くむ精神的土壌を欠落させるものにつながっていると思われます。

子どもたち（大人も）の中に人間的な感受性や共感能力が欠けてくると人権感覚に不均衡をもたらしてくるのです。そうした精神的に荒廃したものをとり戻す営みを、今私たちは身の回りのくらしの中から共に考えていく必要があるのではないでしょうか。

とりわけ幼児期は、自分の思ったことや感じたことを素

らない」

赤ちゃん2頭

友好親善動物使節として昭和五十五年十月、友好都市中国・西安市から奈良市に贈られ、あやめ池遊園地で飼育されているレッサーパンダの夫婦「西西（せいせい）」＝オスと「奈奈（なな）」＝メスの間にかわいい二頭のオスの赤ちゃんが生まれました（出産日は六月二十二日と推定）。

夫婦は野生動物であるので赤ちゃんの飼育は非常に難しく、細心の注意が必要であるため公表がひかえられてきました。最近ようやく順調に育ったのを確認し、十月二十七日初めて公表され、同二十八日から一般公開されたものです。

レッサーパンダの寿命はおよそ十二～三年とされていますが、この両親が奈良市へ贈られてきたとき、中国側の話ではいずれも推定年齢五～六歳であったので、それから計算してすでに十三～十四歳、もっとひかえ目に見ても十歳は越えており、いずれにしてもかなりの高齢出産で、飼育関係者も驚いています。動物園側では「この子どもたちが大きくなれば他の動物園の仲間たちと交流させ、第三世が生まれて、日中友好の生きたシンボルとしてみんなから永く愛されるようになればと夢を持っています」と希望を託しています。

かわいい名前をつけてください

新たに二頭のレッサーパンダの誕生を発表し、赤ちゃんを公開したあやめ池遊園地動物園では恒例により、この兄弟につける愛称を市民のみなさんから募集することになりました。

愛称の応募は次の二通りでいずれでも結構です。

①同園内備え付けの応募箱に二頭の愛称名を書き住所、氏名、年齢、電話番号を記入して投函。

②往復はがきに二頭の愛称名、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて十一月十二日までに必着で、あやめ池遊園地「レッサーパンダ愛称募集係」（〒631、あやめ池北一丁目九―一）へ。

なお、命名式は十一月二十日に同遊園地で行う予定です。

けんらんの菊花 6,000点出品

10・11日　全菊連全国大会

全国の菊花愛好者が精魂こめた作品を一堂に展示し、その優雅さを競い合う全日本菊花連盟全国大会（市共催）が次の通り開かれ、一般公開されます。今年で二十四回目。

菊は古く奈良時代に中国の長安（西安）から遣唐使によって、当時日本の都があったこの奈良の地に伝えられたと言われ、今では春の桜とならんで秋の花として多くの人々に親しまれています。

今回の大会には、全国から約六千点もの出品が予定されており、日本菊の発祥の地奈良で開かれ、大変意義深く、秋にふさわしい華やかな大会です。

また、大会に出品された菊は大会二日目の午後から即売されます。入場無料。

【とき】十一月十日午後三時十分～五時、十一日午前九時～正午。同日午後一時～五時に会場で即売。

【ところ】中央体育館（鴻ノ池運動公園内）

後絶たぬ不正受給

申告は厳正に・不正には厳しい罰則適用

雇用保険

雇用保険の失業給付は、失業した労働者の生活の安定を図り、再就職を促進することを目的としています。ところが働いている事実をかくして支給を受ける人があって不正な受給があとをたちません。

奈良市を含む奈良公共職業安定所管内でも昭和六十二年度中の不正受給は三十四件・総額七百五十九万六千円に上っています。

失業給付は、労働者、使用者双方が納める保険料と、国民が納める貴重な税金によってまかなわれています。そのため、一部の受給者によって不正な受給があると、制度の健全な運営が阻害されます。

十一月は「雇用保険不正受給防止啓発月間」。県雇用保険課、奈良公共職業安定所においては不正受給防止の徹底を期すことにしていますが、私たち一人ひとりが雇用保険制度の趣旨を理解することが大切です。

【失業認定申告書は正確に】

＝つぎのことは必ず正確に申告してください。

◦就職（パート、アルバイト、臨時、見習い・試用期間中なども含む）した場合＝採用された日付や働いた日数

◦内職や手伝いをした場合＝その日付や収入

◦自営業（準備期間含む）を始めた場合＝その日付

◦商業、農業などの家業に従事し、このために常時他に就職できない場合＝そのような状態になった日付

なお、賃金をまだもらっていなくても、また一日しか働いていない場合でも必ず申告してください。

【不正受給は必ず発見！】

◦コンピュータシステムによる検出で

◦公共職業安定所の調査官による事業所調査・家庭訪問で

◦電話や投書などの通報で

【不正受給したら＝罰則】

◦不正な行為があった日（例えば、アルバイトをして収入があったことを申告しなかった日）から給付を受ける権利がなくなり、一切の給付はされません（支給停止）

◦不正な行為により受給した金額は全額返還しなければなりません（返還命令）

◦前項のほかに、不正受給した金額と同額以下の金額の納付が命ぜられます（納付命令）

◦これらを直ちに納めない場合は延滞金が課せられ、支払いを怠った場合は財産の差し押えが行われる場合があります

◦詐欺罪などにより処罰されることがあります

奈良市職員募集

受験申し込みは12日まで

昭和64年度奈良市職員採用候補者をつぎの要領で募集します。受験希望者は11月７日から11月12日までの間に市人事課内奈良市職員任用試験委員会（電話34―4706）へ手続きをしてください。

◇職種・採用予定人員

技術職＝土木、電気、建築は大学・短大・高校卒それぞれ若干名▷保健婦＝若干名▷看護婦＝若干名▷保母職＝28人

◇受験資格

本市への通勤が可能で、つぎの資格要件（学歴、免許および年齢）を満たすもの。

⊙技術職（土木・電気・建築）

大学（昭和38年４月２日以降に生まれたもの）、短大（昭和40年４月２日以降に生まれたもの）、高校（昭和42年４月２日以降に生まれたもの）の専門課程を昭和62年３月以降に卒業したもの、または来年３月卒業見込みのもの。

⊙保健婦

昭和36年４月２日以降に生まれ、高等学校以上の学校を卒業し、保健婦免許取得者または来年３月取得見込みのもの。

⊙看護婦

昭和38年４月２日以降に生まれ、高等学校以上の学校を卒業し、看護婦免許取得者または来年３月取得見込みのもの。

⊙保母職

高等学校以上の学校を卒業（卒業見込みを含む）し、保母資格取得者または来年３月資格取得見込みのもので、大学卒の場合は昭和38年４月２日以降に生まれたもの、短大・高校卒の場合は昭和40年４月２日以降に生まれたもの。

◇採用試験

⊙第１次試験

11月20日（日）午前９時から午後０時30分、市立一条高等学校で筆記試験。発表は11月21日に市役所前掲示場に掲示するとともに本人にも通知します。

⊙第２次試験

11月下旬、面接による口述試験と技術職・保健婦・看護婦は適性検査、作文、体力テスト等を、保母職は適性検査、作文、音楽等実技試験等を行います。発表は12月上旬。

◇受験手続き

11月７日（月）から11月12日（土）まで市役所６階第２研修室で受け付けます。試験申込書（近畿高等学校統一応募用紙の履歴書）、受験票、試験実施要項は11月１日から市人事課内奈良市職員任用試験委員会で渡します。受験申し込みの提出書類は試験申込書、受験票、学校成績証明書および卒業証明書（または卒業見込証明書）と、保母職、保健婦、看護婦を受験するものは、受験を希望する職種の資格証明書の写し（または資格取得見込証明書）各１通。申込用紙の郵便による請求および申し込みは、あて先と郵便番号を明記し、260円の切手を貼付した返信用封筒を同封してください。

【あて先】
奈良市二条大路南一丁目１番１号　郵便番号 630
奈良市役所市長公室人事課内　奈良市職員任用試験委員会

善意ありがとう　善意銀行

8月25日　登美ケ丘二丁目の楠本知栄子さんから老人福祉施設へカーテン二枚。

同29日　二名町の宝生神塚さんから老人福祉へ五万四千百五十円。

同30日　帝塚山六丁目の名和敏男さんから総合福祉センターへがん具四十五点。

同31日　山陵町の広田久義さんから愛の定期便五千円。

▽春日野町の大宮真理子さんからタオルケットなど二十八点。▽行基噴水喜捨分二千八百八十八円。

9月1日　四条大路一丁目の床櫻キミエさん・マヤさんからならやま福祉作業所建設資金にと二十万円。▽南永井町の匿名の方から化粧石けん三百個。

同5日　匿名の方から一万円。

同7日　西大寺東町二丁目の近鉄百貨店奈良店から十津川温泉の湯を平城園へ三・五トンと万葉苑へ一・六トン。

同10日　椿井地区民生児童委員協議会から善意の小箱義金六千円。

同14日　雲雀ケ丘万年青年クラブ役員から二千六百十六円。

同17日　高畑町のNTT奈良会館から食器二百点。

史跡文化センター催し案内

菅原洋一コンサート

来年1月16日(月)
午後3時

入場料(全席指定)
2,500円

前売券は11月10日(木)から同センター、県文化会館、中央公民館、西部・北部両出張所で発売。電話予約(☎(34)9021)は11月11日から。

奈良市恒例の表彰式は、今年も菊かおる「文化の日」の十一月三日午前十時から市史跡文化センターで盛大に挙行されます。

国家社会と奈良市政の発展に尽くした有功者十九人、教育・学芸・文化・産業の発展や地域社会、住民福祉に尽くした功労者五十七人、市の公益のために多額の私財を寄付し、また尊い人命を救助するなど、市民の模範となっている善行者十三人の計八十九人に表彰状・記念品を贈り、その功績や善行を広く顕彰します。

表彰を受ける方々とその主な事績はつぎのとおりです。

有功者 19人

8年以上助役または収入役の職にあった人

井上　愛作　65　元市助役
昭和25年8月市職員となって25年間、職務に専念し、他の職員の模範となって精励、その間、税務・総務両部長の要職を歴任した。
つづいて50年7月から水道事業管理者として5年9カ月、56年4月から収入役として3年7カ月、また59年10月からは助役として4年間を務め奈良市政の枢機に携わり、行政の基本構想の策定、文化・福祉施設の建設、都市再開発事業の推進などに献身し、奈良市の発展に尽くした。63年10月5日任期満了で退職。（五条町一二〇二の四〇）

教育、学芸、文化もしくは産業等の発展または社会福祉の向上にとくに功績が顕著な人

滝崎　則雄　68　団体役員
昭和57年3月財団法人奈良市文化体育振興センター（現在、同法人同市文化振興センター）設立以来6年9カ月にわたって理事長を務め、市の文化施設、体育施設等の適正管理に尽くし、また市民の文化に対するニーズを的確にとらえて文化施策・事業を計画・実施、市が推進する「香り高い市民文化をはぐくむまちづくり」の実現に手腕を発揮した。
このほか56年6月から奈良国際文化観光都市建設審議会委員を務めつとめ社会福祉の向上に精進している。（矢田原町一〇四〇）

桐木　勝　57　無職
昭和21年3月市職員となって、42年1カ月にわたり市政に精進、その間水道局業務部長、国体事務局長、民生部長、教育総務部長を歴任。（西大寺野神町一丁目三―一一）

太田　慎司　57　会社社長
昭和24年4月市職員となって、39年にわたり市政に精進、その間、都市計画課長、建設・都市開発両部長を歴任。（大和郡山市矢田山町二九の三）

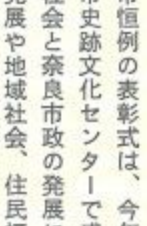
杉本　充弘　57　団体役員
昭和25年10月市職員となって、37年6カ月にわたり市政に精進、その間税務・教育総務・経済各部長を歴任。（あやめ池南一丁目三―二六）

廣瀬　昭　57　無職
昭和22年8月市職員となって、40年8カ月にわたり市政に精進、その間福祉第一課長、民生・市民両部長を歴任。（東登美ケ丘一丁目一〇―一）

山本　亀治　56　会社役員
昭和33年1月市職員となって、30年3カ月にわたり市政に精進、その間、市舗装公社事務局長、土木課長、建設部長を歴任。（法蓮町八五六の二）

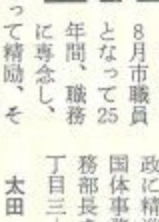
窪田　靖　56　団体役員
昭和32年3月市職員となって、31年1カ月にわたり市政に精進、その間、水道局総務課長、同業務部次長、同業務部長を歴任。（山陵町三七二の二）

松本　和義　58　教育委員会委員
昭和31年4月市職員となって、32年にわたり市政に精進、西部出張所長、市民・教育総務・税務各部長を歴任。（学園南三丁目八―二三）



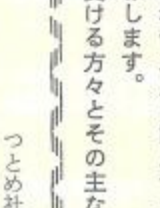
下田　昌英　51　農業
昭和38年5月市消防団白毫寺分団に入団、以来25年8カ月にわたって郷土防災に精進。60年分団長となり、部下を掌握して防災の第一線に在る。（白毫寺町二一八）

望月　秀明　56　商業
昭和38年5月市消防団春日分団に入団、以来25年8カ月にわたって郷土防災に精進。その間班長を経て現在部長。（高畑町九三六の一）



山上　民造　52　自営業
昭和37年12月市消防団若草分団に入団、以来26年にわたって郷土防災に精進。その間班長を経て現在部長。（北市町八〇）

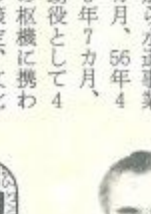
北村　頼行　79　自営業
市公害対策審議会委員
後藤町27



花岡　利昌　73　大学名誉教授
市公害対策審議会委員
多門町15

瓢野　又一　74　元大学教授
市公害対策審議会委員
東大阪市東豊浦町

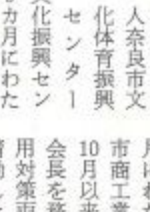
渡辺　仁治　64　元大学教授
市公害対策審議会委員
京都市中京区新京極通蛸薬師下る東側町



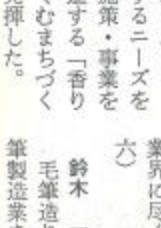
北邨　智福　58　無職
市公民館運営審議会委員
橋本町1

中井　昭義　58　団体職員
市職員
35年2カ月
（西部出張所長）
北袋町3の4

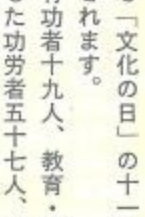
角田　淳　57　会社員
市職員
37年
（公害交通課長）
天理市楢町436



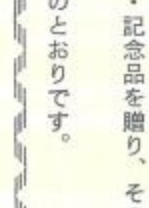
大間知寛二　57　無職
市職員
42年3カ月
（北部出張所長）
西大寺南町2―16



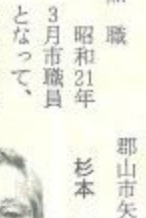
岡埜　和弘　57　無職
市職員
42年1カ月
（図書館次長）
三条大路一丁目9―27



八木　勲　57　無職
市職員
28年3カ月
（市民課長）
京都府綴喜郡井手町

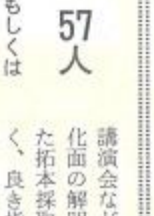


秋森　忠和　58　無職
市職員
33年11カ月
（衛生課主幹）
西大寺新町一丁目2―3



中南　百合子　52　無職
市職員
30年9カ月
（児童福祉課主査）
柳生町544

石橋　重雄　47　商業
昭和45年12月市消防団東市分団に入団、現在副分団長。地域防災の任務に率先精励。（高畑町八四の四）



大西　武男　47　商業
昭和48年4月市消防団大安寺分団に入団。現在分団長。地域防災の任務に率先して精励。（大安寺町一〇一〇の一）

北野　平八郎　48　商業
昭和45年4月市消防団三笠分団に入団、18年8カ月にわたって郷土防災に精進。現在班長。（小川町五）

綱山　利雄　48　自営業
昭和48年4月市消防団明治分団に入団、15年8カ月にわたって郷

15年以上消防団の団員として勤続しとくに功績顕著な人

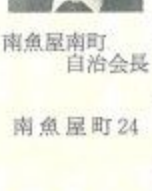
15年以上市の職員として勤続しとくに功績顕著な人（カッコ内は最終職）

岸　亀松　79　会社役員
押上町自治会長
押上町32

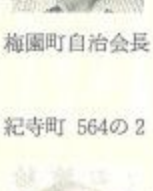
河合　和夫　68　木製品製造
川久保町自治会長
川久保町22

勝美　政三　76　無職
西紀寺町自治会長
西紀寺町27

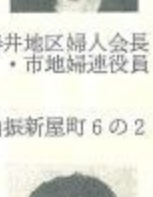
岡田　徳義　69　農業
大森町第1自治会長
大森町280



吉田　淳一　66　会社役員
南魚屋南町自治会長
南魚屋町24

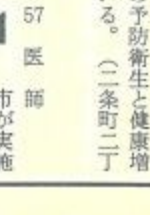


吉田　正一　58　土建請負
梅園町自治会長
紀寺町564の2

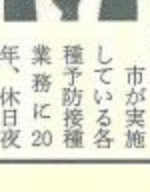


佐伯　市子　73　無職
椿井地区婦人会長・市地婦連役員
角振新屋町6の2

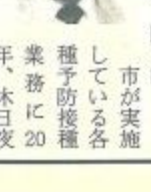
10年以上、法令または条例に基づき選任された審議会等の委員



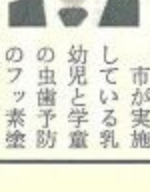
齋藤　正規　57　医師
市が実施している各種予防接種業務に20年、休日夜間応急診療所業務に10年にわたり協力し、市民の予防衛生と健康増進に貢献している。（二条町二丁目三―一〇）



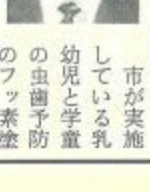
村井　泰裕　57　医師
市が実施している各種予防接種業務に20年、休日夜間応急診療所業務に10年にわたり協力し、市民の予防衛生と健康増進に貢献している。（法蓮町八九六の二）



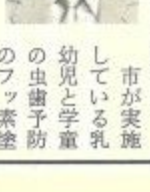
内藤　喜雄　51　歯科医師
市が実施している乳幼児と学童の虫歯予防のフッ素塗布事業と乳幼児歯科検診をはじめとする各種歯科検診に各15年以上にわたって協力し、市民の歯科衛生の向上に貢献している。（秋篠三和町一丁目一四―八）



中野　鉄也　55　歯科医師
市が実施している乳幼児と学童の虫歯予防のフッ素塗布事業と乳幼児歯科検診をはじめとする各種歯科検診に各15年以上にわたって協力し、市民の歯科衛生の向上に貢献している。（登美ケ丘四丁目二―三）



松山　秀人　49　歯科医師
市が実施している乳幼児と学童の虫歯予防のフッ素塗布事業と乳幼児歯科検診をはじめとする各種歯科検診に各15年以上にわたって協力し、市民の歯科衛生の向上に貢献している。（高御門町三八の一）



農澤　留次郎　79　ネーム刺繍
昭和43年4月から今日まで20余

氏名下の洋数字は十一月三日現在の年齢、以下職業、表彰事績の

で市社会教育委員会議議長でもある。（学園大和町四丁目一六九）

市の公益に関しとくに功績が顕著な人

池田　昇　61　会社社長
昭和44年から現在まで19年8カ月、若葉台三丁目自治会長をつとめ地域振興に貢献した。（若葉台三丁目一二―六）

上田　嘉　81　無職
昭和44年から現在まで19年8カ月、西大寺竜王町一・二丁目自治会長をつとめ地域振興に貢献した。（西大寺竜王町一丁目四―五三）

上司　延武　75　神官
昭和44年から現在まで19年10カ月、東大寺境内町自治会長をつとめ地域振興に貢献した。（雑司町四三四）

中　房治郎　81　無職
昭和44年から現在まで19年8カ月、南半田東町自治会長をつとめ地域振興に貢献した。（南半田東町一七）

中村　武男　69　自営業
昭和44年から現在まで19年11カ月、東大路町自治会長をつとめ地域振興に貢献した。（高畑町八二一）

橋本　亮祐　65　無職
昭和44年から現在まで19年11カ月、大和町自治会長をつとめ地域振興に貢献した。（福智院町三九の三）

水野　甲子　63　無職
昭和38年から現在まで25年2カ月、民生・児童委員を

奈良毛筆研究会会長として昭和42年から20年にわたって毛筆製造技法の研究・向上と製筆職人の士気高揚に尽くしてきた。また50年からは奈良毛筆協同組合理事として業界の振興に尽力している。（紀寺町一〇一三）

住井　恒男　65　時計販売業
昭和51年10月奈良商工会議所議員となって現在常議員として活躍。その間、各種委員を歴任し現在小企業等経営改善資金審査会委員、商業小売部会副部会長、総務委員会副委員長として尽粋。ほかに市商店街振興連絡協議会副会長を4年余務め、いま学園前ショッピングセンター協同組合理事長として商店街振興に努めている。（西登美ケ丘四丁目一七―一）

竹田　武雄　77　無職
奈良における菊づくりの指導者の重鎮。昭和45年に県菊花連盟理事、翌年あやめ池日本菊花協会理事と寧楽菊花協会副会長に就任し、現在もその職に在って歴史と伝統を誇る郷土の菊花の改良普及に尽粋して優秀な新種を生み出し、多くの菊愛好家のよき師として後継者の育成に尽力した。ほかに関西菊花連盟理事として広く菊界に貢献している。（西大寺新田町八―一六）

豊住　謹一　78　書店経営
県下の書籍販売店の経営健全化をめざしてその組織化に努め、県書店小売業協同組合の設立に尽力し、理事・理事長を歴任、業界の指導的役割を果たした。現在は相談役。52年4月、市立図書館開館を機に市の業者を糾合して奈良書店協同組合を設立、理事長となって同館への図書納入に協力している。

52年には自ら「奈良学」の講座を開講、59年には「奈良学の会」を発足させて学者・研究者の月例

ールを生かして団を結成して少年少女の指導に当たった。本部委員7年のほか続けて本部企画部会副部会長を務め、市内全団の各種育成事業の企画・立案から実施・運営まで献身的に尽くしている。また53年4月から市体育指導委員となり、青少年はもとより高齢者までのスポーツの普及と実施面を担当している。（古市町二〇五九の一七）

藤井　秋雄　63　書籍販売業
青少年の健全育成をめざして奈良少年少女合唱団の結成に尽力し、昭和46年4月結成と同時にその副理事長に就任、17年余を音楽による心のふれあいを求め、青少年・子女の情操教育に尽粋してきた。また、国内外の姉妹都市へも合唱団を派遣し相互の友好関係とくに国際親善に貢献している。（南京終町一丁目七八の二）

増田　富治郎　76　食堂経営
昭和51年5月から柳生観光協会長として12年7カ月にわたり、柳生を訪れる観光客の宿泊受け入れをはじめ、地元の交通網の充実、植樹など観光環境の整備に率先尽力した。一方、55年に故山岡荘八氏遺族から寄贈を受けた柳生藩家老屋敷を奈良市が公開するとき、自ら陣頭に立って本屋・庭園の修復、陳屋跡・駐車場などの整備に取り組み、観光資源開発の援助、地元の活性化に大きく貢献した。（柳生町八三の三）

10年以上自治会長その他公共的団体の代表者等の職にある人、またはあった人

市川　義治　46　会社役員
大森町第4自治会長
大森町 185の1

百濟善一郎　70　無職
西紀寺本町自治会長
西紀寺町 648

小谷　光治　67　建築業
閼伽井町自治会長
高畑町 644の16

小松　正幸　70　無職
あやめ池北一丁目第2自治会長
あやめ池北一丁目8―28

竹川　雅晟　60　農業
法蓮北二丁目自治会長
法蓮町 1251

谷　直彦　68　自営業
半田突抜町自治会長
半田突抜町4の3

田村　晃陽　73　自営業
芝辻プラス町自治会長
芝辻町14の3

富田　安夫　71　農業
興福院町自治会長
尼辻中町2―27

橋本　政次郎　72　呉服販売
橋本町自治会長
橋本町 35

前田　一義　75　無職
六条柳町四丁目・六条一丁目第3自治会長
六条一丁目18―14

善行者 13人

市の公益のため多額の私財を寄付した人

石田　一郎　66　短期大学講師
市建築審査会委員
二名町 500の50

辻田　武和　56　不動産鑑定士
市特別土地保有税審議会委員
大阪市東住吉区針中野三丁目

内田　穣吉　76　無職
市特別土地保有税審議会委員
右京五丁目 9

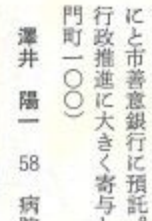
中川　健　56　市嘱託
市職員
35年10カ月
（収税課長）
古市町 436

八田　三雄　56　団体職員
市職員
30年4カ月
（水道局企画課長）
秋篠町1170の59

山口　勇　57　市社協職員
市職員
39年5カ月
（東部出張所長）
興ケ原町 386

上原　昭二　48　税理士
昭和62年10月、亡妻供養のため市ボランティア基金に浄財六百二十六万一千円を市善意銀行に預託。市の福祉行政に大きく寄与した。（西千代ケ丘一丁目二三―二四）

浦西　巳代治　70　会社員
昭和62年10月、亡息供養のため青少年健全育成にと浄財百万円を寄付。市の教育行政推進に大きく寄与した。この種善行者表彰は今までに六回に上っている。（西大寺野神町二丁目八―五）

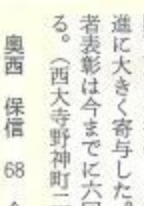


奥西　保信　68　会社経営
昭和63年4月、明光第六ビル竣工記念に市ボランティア基金として浄財五百万円を市善意銀行に預託。市の福祉行政推進に大きく寄与した。（二名町一五六）

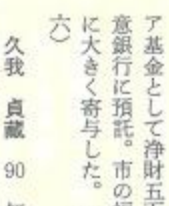
久我　貞蔵　90　無職
昭和63年8月、市制九十周年と自分の九十歳の誕生日を記念して浄財百万円を市ボランティア基金にと市善意銀行へ預託。市の福祉

上司　キクノ　82　煙草・雑貨小売商
昭和63年9月、福祉事業にと浄財百万円を市善意銀行に預託。市の福祉行政推進に大きく寄与した。今までにこの種善行者表彰は三回に上っている。（右京四丁目六の一一）

岩本　潤三　54　会社社長
昭和63年9月、福祉事業にと浄財百万円を市善意銀行に預託。市の福祉行政推進に大きく寄与した。今までにこの種善行者表彰は三回に上っている。（六条町二八七）



上田　義治　82　煙草・雑貨小売商
昭和63年9月、福祉事業にと浄財二百万円を市善意銀行に預託。市の福祉行政推進に大きく寄与した。この種善行者表彰は今までに八回に上っている。（六条町二八七）



狭川　宗玄　68　僧侶
昭和63年8月、亡父供養のため浄財百万円を福祉事業にと市善意銀行に預託。市の福祉行政推進に大きく寄与した。（水門町一〇〇）

澤井　陽一　58　病院院長
昭和63年5月、亡父供養のため市ボランティア基金にと浄財百万円を市善意銀行に預託。市の福祉行政推進に大きく寄与した。（法蓮町八九〇の三）

林　清三郎　98　無職
市立一条高校に設立している「林清三郎文庫」資金にと昭和63年5月、浄財二百万円を寄付。市の教育行政推進に大きく寄与した。氏の各種寄付による善行者表彰は今までに七回、ほかに有功者表彰・特別表彰各一回がある。（学園大和町五丁目二〇）

藤田ももこ　71　無職
昭和63年1月、亡母供養のため浄財百万円を福祉事業にと市善意銀行に預託。市の福祉行政推進に大きく寄与した。（中町二四九九）

森本　重雄　75　無職
昭和62年12月、自分らの金婚式を記念して福祉事業にと浄財百万円を市善意銀行に預託。市の福祉行政推進に大きく寄与した。（あやめ池南）

【付記】藤田さんは写真掲載を辞退されましたので掲載していません。

自己の危難をかえりみないで人命を救助した人

南　博　28　会社員
昭和63年5月18日午前8時15分ごろ、町内の西田憲司氏宅の火災に当たり、逃げ遅れて二階ベランダで救いを求める同氏夫人陽子さんを発見、時を移さず近くにあった軽四貨物自動車を運転して火災現場に近づき、これを足場にして火の粉を浴びながらベランダに登り、陽子さんを無事救出した。（川上町七〇の二）

松石　廣一　53　生花商
生花商を営む傍ら花を通じて明るい社会づくりの活動を心がけ、「花の市」開催の推進母体となる「市花愛好普及会」結成に尽力、自ら副会長をしている。市花商組合の生花商や花木組合に呼びかけて昭和45年普及会が結成され、以来18年間、毎月第二日曜日の「花の市」は市民の共感を得た。（東九条町一〇一四の二一）

務め、43年の市営東山霊苑火葬場火葬炉の改築、49年の強制通風装置・再燃焼却炉の改善、57年の火葬炉の改修各工事などそれぞれの推進に協力した。（白毫寺町一六三）

敬称は省略。順不同。

秋晴れ！1万人が楽しむ
ヤングカーニバル

「秋だ祭だふやそう仲間」をテーマに第九回奈良ヤングカーニバル（市・市教育委員会・ヤングカーニバル実行委員会共催）が十月二十三日、鴻ノ池陸上競技場補助競技場で行われました。

ボーイスカウト、ガールスカウト、青年団など十六の団体が趣向を凝らしたコーナーをオープン。わらぞうりづくりや竹とんぼづくりなどから模擬店まで、親子連れなどで大にぎわい。イベントも合唱や人形劇、実行委員主催のミステリーパネル、大なわとびと盛りだくさん。約一万人が秋の一日を楽しく過ごしました。＝写真は人形劇「あかおに」に集まった子どもたち

市民スポーツのつどい
三十会場に七千百人
秋晴れのもと健康譜高らか

青く澄みきった秋晴れとなった十月十日「体育の日」、二十一回目を迎えた「市民スポーツのつどい」が開かれ、約七千百人の市民が三十会場で思い思いのスポーツを楽しみました。

鴻ノ池陸上競技場では、午前九時から開会式があり、西田市長が「スポーツのつどいのスローガンは健康・友情・奉仕。今日は一日、スポーツを楽しみ、ふれあいを深めてください」とあいさつ。つづいて、開会式に参加した二千四百人が県トリム体操協会指導員の指導で音楽にあわせて軽快なトリム体操を展開。

このあと、各会場に分かれ、バレーボール、卓球、テニス、バスケットボールなどのスポーツが行われました。

鴻ノ池陸上競技場ではジョギング、スポーツテストが行われ、家族そろって楽しむ光景も見られました。

このほか、鴻ノ池運動公園を中心に市内各所で子どもからお年寄りまでがスポーツにさわやかな汗を流していました。

ジョギングでさわやかな汗を流す人たち（鴻ノ池陸上競技場で）

熱戦がくり広げられたミニバスケットボール（中央体育館で）

250人が楽しむ
母子家庭運動会

第十七回市母子家庭運動会が秋晴れの十月十六日、左京五丁目の市総合福祉センター多目的広場で行われました。

この日参加したのは母子百世帯二百五十人、今年は奈良大宮ロータリークラブのメンバーも参加しました。

西田市長のあいさつの後、母と子が紅白に別れ、さらに来賓も参加して玉入れから競技開始。二人三脚、借り物競走、タイヤ転がしなど楽しい競技がつづき、母子の声援がとびかい、会場は終日母子の明るい笑い声に包まれていました。

写真は母子力をあわせて大玉転がし

防火ポスターに千百八点が応募
上位三十三点を展覧

ことしは寒さの訪れが一きわ早く、火災の発生しやすい時季を迎えて十一月二十六日～十二月二日の一週間、「秋の火災予防運動」が全国的に実施されます。

この運動にちなみ、市消防本部が市内の小学生（四～六年生）から防火ポスターを募集したところ千百八点もの作品が寄せられました。いずれの作品も「火災の恐ろしさ」を子どもの眼でとらえ、巧みに表現した力作ぞろいで、この中から審査によって佳作以上の入賞作品が選ばれました。このうちつぎの最優秀作品、優秀作品など三十三点は運動期間中奈良ファミリー一階インモールで「防火ポスター展」として展示されます。（以下敬称略）

【最優秀賞】相澤毅（六条小四年）▽土橋友香理（都跡小五年）▽大賀靖子（富雄第三小六年）

【優秀賞】榊原紫（六条小四年）▽上田崇美子（同）▽迫田匡記（同五年）▽神農奈緒（大宮小五年）▽石巻昌胤（精華小六年）▽中井美佳（大宮小六年）

▷大賀　靖子さん
△相澤　毅くん　の各作品
◁土橋由香理さん

初秋の三コースに一八六人
見て歩く功徳高める　文化財めぐり

奈良市内の文化財をたずね歩き、文化財についての理解と関心を高めようと、第七回市文化財めぐり（市教育委員会主催）が十月十三日催されました。

コースは「西大寺・菅原の文化財コース」「北奈良町の文化財コース」「南奈良町の文化財コース」の三つが設定され、計百八十六人の市民が参加しました。

三十三人が参加した南奈良町コースでは、奈良国立文化財研究所建造物研究室長の宮本長二郎さんが講師となり、境内にまんじゅうの神さまをまつる林神社がある漢国神社（漢国町）をふり出しに、百合まつりで有名な率川神社（本子守町）、伝香寺、元興寺、十輪院、今西家書院を順ぐりに見学して回りました。

参加者は講師の説明に熱心に耳を傾け、質問をする人、ノートにメモをとる人などの姿も見受けられ、奈良市民の文化財に対する関心の高さがうかがえました。参加者の一人は「毎年参加するのを楽しみにしています。自分でもよく見て回るんですが、講師の方の説明を聞きながら見学すると興味や理解もぐっと深まりますね」と語っていました。

熱心に見学する参加者（漢国神社で）

仏の舞・雅楽に参会者陶酔
伝統芸能の集い

市民にさまざまな伝統芸能を紹介し、日本の文化や私たち日本人について理解を深めてもらおうと「伝統芸能の集い」（市教育委員会主催）が十月二十二日、市史跡文化センターで開かれました。

奈良市はじめ全国各地の伝統行事を紹介し毎回好評を得ていますが、四回目の今回は、和歌山県花園村に伝わる「仏の舞」と南都楽所による「雅楽」が演じられました。

「仏の舞」は仏教の古典芸能で法華経の女人成仏を舞踏劇化した一種の仮面劇。和歌山県の無形民俗文化財に指定されています。

龍宮の龍王の乙姫が文殊菩薩の教化の舞によって成仏してゆくさまをえがいたその舞が始まると、舞台はたちまち幽玄な雰囲気に包まれ、観客はその世界に引き込まれていました。

また、南都楽所による雅楽は、敦煌莫高窟から発見された「敦煌曲譜」をもとにした「傾盃酔郷楽」など三曲が演じられ、その優美華麗さは観客を魅了しました。

相談など「税の広場」開く

奈良税務署が「税を知る週間」（十一月十一～十七日）中に、つぎの通り税の広場を開きます。

とき＝十一月十二日（土）・十三日（日）午前十時～午後四時▽ところ＝奈良ファミリー一階▽内容＝税の相談、税のパネル展示、地酒とワインの展示と試飲。

二名公民館

〒六三一、二名町三六九三　電話㊿九一一三番

一日陶芸教室　とき＝11月27日午前9時～午後4時▽ところ＝滋賀県信楽町▽定員＝小学四年生以上の人五十人▽参加費＝二千五百円（粘土代・昼食代含む）

参加希望者は往復はがきに教室名、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、11月15日までに必着で同館へ。はがき一枚に一人限り。応募者多数の場合は抽選。

富雄公民館

〒六三二、鳥見町二丁目九　電話㊿五三八六番

フランス刺しゅう教室　11月22日～来年3月28日の毎月第二・四・五火曜日午前9時半～正午。市内在住の婦人二十四人。材料費は自己負担。

受講希望者は往復はがきに教室名、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、11月12日までに必着で同館へ。はがき一枚に一人限り。応募者多数の場合は抽選。

勤労青少年ホーム

〒六三〇、大宮町二丁目一〇一二　電話㊿〇五一六番

クラブ員募集　つぎの各クラブでそれぞれ十人を募集。

対象は市内在住・在勤の28歳未満の勤労青少年（学生を除く）。練習日はつぎのとおりで、時間はいずれも午後6時半～8時45分。クラブ費・材料費などは自己負担。

。毎週月曜日＝バレーボール・華道・茶道

。毎週火曜日＝社交ダンス・茶道（月曜日とは別）

。毎週水曜日＝バスケットボール

。毎週木曜日＝卓球

。毎週金曜日＝バドミントン

参加希望者は往復はがきにクラブ名、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて同ホームへ。

第4回 青年作品展

市、市教育委員会、ヤングカーニバル実行委員会の共催で、青年の文化・芸術創作活動を促進・振興しようと、第四回青年作品展を2月17日～19日、市中央公民館（上三条町）で開きます。応募できるのは15歳以上30歳以下の市内に在住・在勤・在学する青年で、出品は一人二点まで（未発表のもの）。出品手数料は無料。

【規格】①日本画・洋画＝十号以上三十号以内で額装すること。版画はサムホール（22・7cm×15・8cm）以上。②彫刻＝横幅100cm、奥行100cm、高さ150cm、重さ100kg以内③工芸＝平面作品は縦180cm、横幅150cm以内とし、額装をしたもの。立体作品は縦100cm、横100cm、高さ100cm、重さ100kg以内（魚拓・珍木に準ずる物は除く）。④書＝仕上がり面積1・13㎡とし、高さ182cm、横182cm以内、額装または仮表装のこと。⑤写真＝単作品とし、四ツ切から全紙までで、パネル装または額装すること。

【注意事項】☆規格に合わないもの、破損しやすいもの、異臭を放つもの、高温を発するもの、動力源を必要とするもの、引火性の強いもの、腐敗しやすいもの、その他危険と思われるものは受け付けません。☆大きい作品の搬入・搬出にはエレベーター（奥行150cm×高さ210cm×入口幅88cm）を使用できない場合があります。☆不可抗力による作品の損傷については責任を負いません。また、指定期日に搬出されない作品については、その責任を持ちません。

【搬入】2月12日（日）午前10時～午後4時、市中央公民館三階。

【問い合わせ】市婦人青少年課（二条大路南一丁目、㊿㉞一一一一）へ。

ならフェンバーアンサンブル 第7回演奏会

クリスマスを前に

◇…市史跡文化センターで…◇

奈良市の室内楽団「ならフェンバーアンサンブル」の第7回演奏会がつぎのとおり開かれます。今回はクリスマスを前に素敵なクリスマス・ソングとバロック音楽を楽しんでもらいます。

〈とき〉12月17日（土）午後6時半開演

〈ところ〉史跡文化センター

〈曲目〉コレルリ「合奏協奏曲第8番ト短調作品6―8・クリスマス」▽パーセル「トランペットソナタ第1番ニ長調」▽デービッド・ハウエル編曲「クリスマス・ファンタジー」ほか。

申し込みは往復はがきに住所・氏名（返信用にも）、電話番号、年齢、「演奏会希望」と書いて、12月3日までに必着で市文化課（〒630、二条大路南一丁目一―一、㊿㉞一一一一）へ。はがき一枚に一人限り。応募者多数の場合は抽選（定員八百人）。

初の市音楽フェスティバル

来春3月開く

参加団体募集

第一回奈良市音楽フェスティバルが市教育委員会の後援で来年3月26日開かれます。これは、市内に活動拠点を持つ市民音楽団体が一堂に会して交流・競演し、地域文化の向上をはかろうとするものです。同フェスティバル実行委員会では参加団体をつぎのとおり募集しています。

とき＝来年3月26日（日）▽ところ＝市史跡文化センター▽参加資格＝五年以上の活動実績があり、団員数三十人以上のアマチュア団体▽申し込み＝11月30日までに同フェスティバル実行委員会（〒630、花芝町三〇ソノール音楽院内、㊿㉔五〇八〇）の大西和巳さんへ。応募多数の場合は抽選。

県高校総合文化祭

13・20日県文化会館で

県内高校生が芸術の秋をめざした芸術文化活動の総合的な発表会「奈良県高等学校総合文化祭」が開かれます。

この文化祭は「はぐくもう、若い心に文化のいぶき」をテーマに、生徒相互の交流と研さんを深め、心豊かな人間の育成をめざして開催されるもので、今年で三回目。

会場は県下四会場で、奈良市内では奈良県文化会館を会場に合唱、吹奏楽、器楽演奏などが披露されます。日程はつぎの通り。入場は無料。

11月13日（日）午前10時～午後4時＝合唱、吹奏楽、器楽、邦楽部門発表▽11月20日（日）午後1時～4時半＝邦楽部門発表

ボーイスカウトが隊員募集

奈良地区ボーイスカウト19個団で次のように隊員を募集しています。

入団者＝昭和六十四年度の小学一～三年生の男子児童（他の学年、中・高校生も入隊可）▽申し込み＝はがきに住所、氏名、生年月日、保護者名、電話番号を書いて〒630、法蓮町一七〇二、市社会福祉協議会ボランティアセンターで、出席は保護者。

16㍉映写技師の養成講習会

市教育委員会が16㍉映写技師養成講習会をつぎのとおり開きます。受講希望者ははがきに住所、氏名、生年月日、電話番号を書いて、11月19日までに必着で市社会教育課（〒630二条大路南一丁目一―一、㊿㉞一一一一）へ。くわしくは同課へ。

とき＝12月2日午前9時～午後7時（午後5時以降は希望者のみ）、同3日午前8時半～午後5時▽ところ＝市青年の家（半田開町）

スウェーデン国立美術館展

11月12日～12月11日 県立美術館

ルーベンス《美の三女神》

県立美術館（登大路町）では八世紀に創設された世界でも最も古い美術館のひとつとして知られています。

今回は、同館が誇るレンブラント、ハルス、クールベ、ルノワール、セザンヌら西欧近代絵画の巨匠連、さらにはスウェーデンの国民画家ともいうべきカール・ラーション、アンデシュ・ゾーンなどの作品を中心に、油彩・水彩など約百十点が展観されます。

とき＝11月12日（土）～12月11日（日）午前9時～午後4時半（月曜休館）▽ところ＝県立美術館▽入場料＝大人九百円（七百円）、大・高生六百円（四百円）中・小生三百円（二百円）カッコ内は前売料金▽問い合わせ＝県立美術館（登大路町、㉓三九六八）へ。

この国立美術館は、伝統ある王室コレクションを基に十八世紀に創設された世界でも最も古い美術館のひとつとして知られています。

今回は、同館が誇るレンブラント、ハルス、クールベ、ルノワール、セザンヌら西欧近代絵画の巨匠連、さらにはスウェーデンの国民画家ともいうべきカール・ラーション、アンデシュ・ゾーンなどの作品を中心に、油彩・水彩など約百十点が展観されます。

とき＝11月12日（土）～12月11日（日）午前9時～午後4時半（月曜休館）▽ところ＝県立美術館▽入場料＝大人九百円（七百円）、大・高生六百円（四百円）中・小生三百円（二百円）カッコ内は前売料金▽問い合わせ＝県立美術館（登大路町、㉓三九六八）へ。

政治教養講座

29日県文化会館で

市・県両選挙管理委員会と市明るい選挙推進協議会・県明るい選挙推進協会が共催で政治教養講座をつぎのとおり開きます。

この講座は、市民の皆さんに社会や政治への関心を高めてもらい、常に政治をみつめ適切な代表者を選ぶ「眼」を養ってもらおうというものです。

とき＝11月29日（火）午後6時～8時35分▽ところ＝県文化会館（登大路町）▽定員＝市内在住・在勤の18歳以上の人百人▽テーマ・講師＝「家庭と婦人問題」金井秀子京都教育大学教授「世界の中の日本」須藤眞志京都産業大学教授

聴講希望者ははがきに住所、氏名、年齢を書いて、11月22日までに市選挙管理委員会（〒630、二条大路南一丁目一―一、㊿㉞一一一一）へ（電話も可）。

市営住宅空き家入居者募集

市営住宅空き家の入居者をつぎの通り募集します。

空き家は一種住宅の第十八号市営住宅（六条西一丁目）三戸、第二十号市営住宅（二名町）二戸、二種住宅の第十八号市営住宅（六条西一丁目）二戸です。

申し込み受付日は11月18・19・21日で抽選は22日。入居申込用紙は市住宅課と西部・北部両出張所で11月10日～21日に希望者に渡します。申し込み・問い合わせは同課へ。

▽受講者＝市内在住・在勤・在学で2日間受講可能な人四十人。応募者多数の場合は抽選。

花木展示即売会

市花木園芸組合が花木の展示即売会をつぎのとおり開きます。

とき＝11月12日（土）・13日（日）午前9時～午後5時▽ところ＝押熊町（大和中央道とならやま大通りとの交差点から南へ四百㍍、オレンジタウン西側）▽即売品目＝花木、植木、盆栽など▽問い合わせ＝同組合（㊾〇二九六）へ。

11月1日～30日は 下水道事業受益者負担金（第二期分）の納期です

デザイン・アビリティーズ奈良

〒六三一、左京五丁目三―一
電話㊶〇七七五番
MF㊶〇七七三番

ゲートボール大会　とき＝12月4日（日）午前10時から▽参加チーム＝身体障害者二人以上を含む市内在住者五人一組の六チーム▽持ちもの＝スティック、タオル。

参加希望チームははがきに各メンバーの住所、氏名、年齢、電話番号、障害の有無・種別を書いて11月27日までに同所へ。

老春の家

〒六三〇、法蓮町一七〇二―一
電話㉞三一五一番

年忘れ素人演芸大会　とき＝12月15日（木）午前10時から▽出演者＝市内在住の60歳以上の人八十組▽演目＝民舞、日舞、剣舞、民謡、謡曲、詩吟、小唄、歌謡曲など（一組一回、持ち時間三分）。

出演希望者ははがきに演題、出演人数、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて11月30日までに同館へ。申し込み多数の場合は抽選。当日参加はできません。

市保健センター

〒六三〇、二条大路南一丁目、
電話㉞一一一一番

成人健康相談　とき＝11月16日（水）午後1時半～3時半▽相談者＝40歳以上の人またはその家族（電話で同センターへ予約）▽内容＝成人病など健康についての相談。希望者には血圧測定、検尿なども実施、全員に健康手帳を渡します。

成人歯科健康相談　とき＝11月17日（木）午前10時～正午▽相談者＝40歳以上の人とその家族（電話で予約を）▽内容＝むし歯などに関する相談。

胃ガン検診

申し込み21日まで

胃ガンの早期発見・治療をめざし、検診車による検診をつぎの通り行います。

受診者＝40歳以上の人（6カ月以内に胃部X線を撮った人と妊婦は除く）▽申し込み＝11月21日までに市衛生課または同保健センター（いずれも☎㉞一一一一）へ電話で▽時間＝各日とも午前9時半～10時半▽料金＝40歳～69歳は五百円、70歳以上（必ず健康手帳持参）と生活保護・市民税非課税世帯は無料（申し込み時に申し出を）。

12月7日（水）奈良保健所
同8日（木）杏中隣保館
同9日（金）鼓阪小学校
同12日（月）西奈良県民センター
同13日（火）八条隣保館・都跡連絡所
同14日（水）六条緑町集会所・登美ケ丘中学校
同15日（木）南部公民館・二名公民館
同16日（金）杏南隣保館

子宮ガン検診は市へ申し込みを

市では、一般医療機関による子宮ガン検診を実施しています。早期発見、早期治療のため、年一回は受診してください。

受診希望者は電話で市保健センターまたは市衛生課（いずれも☎㉞一一一一）へ。申し込みを受けてから本人あてに受診票を送りますので、医療機関で受診してください。

対象は市内在住の30歳以上の人で、料金は30歳～69歳が千円（医療機関で支払う）、70歳以上と生活保護・市民税非課税世帯は無料（申し込みの際申し出てください）です。

西奈良保健センター

〒六三一、登美ケ丘二丁目
電話㊸五九一一番

痴呆性老人看護講座　痴呆性老人の看護に当たっている家族の方を対象につぎのように開きます。

とき＝11月14日・21日・28日の月曜日午後1時半～3時半▽定員＝二十人▽内容＝「痴呆性老人の介護」「老人の栄養」「老人性痴呆について」ほか座談会。

受講希望者は電話で11月10日までに同センターへ申し込んでください。

4カ月児健診

＝奈良保健所と西奈良県民センターで＝

奈良保健所（西木辻町、☎㉓六一七一）と西奈良県民センター（登美ケ丘二丁目、☎㊸五九一一）で実施。受け付けはいずれも午前9時～10時。問診、身体計測、内科検診、栄養・離乳食・生活の各指導のほか神経芽細胞腫についての説明と検査紙の発行も。母子手帳持参。

▽奈良保健所＝毎週火曜日（第4週を除く）に直接来てください。

▽西奈良県民センター＝毎月第一・三月曜日と第二・四金曜日。定員は一回三十人。西奈良地区在住の方のみ。受診日は電話予約のこと。

奈良保健所

〒六三〇、西木辻町
電話㉓六一七一番

神経芽細胞腫マス・スクリーニング検査　神経芽細胞腫は小児がんの一種で、尿の検査で早期発見し、早期治療できます。生後6カ月までの乳児で4カ月児健診を受けなかった子を対象に実施。毎月第四火曜日午後2時から説明会を開き検査用紙を渡します。

10カ月児教室　10カ月児の身体計測、発育状態の観察をし、その母親に保健婦・栄養士・歯科衛生士が集団保健指導を行います。毎月第二・三火曜日の午後1時から。定員は一回五十人。受講希望者は電話で申し込んでください。

消費者セミナー

自主的で健全な消費生活を営む消費者になってもらうための手助けに市では消費者セミナーを開きます。日程とテーマ、講師はつぎの通り。

▽11月16日（水）西部公民館＝「契約と消費者問題」弁護士・中村悟氏

▽11月22日（火）西部公民館＝「情報化社会と消費者」奈良女子大学助教授・清水哲郎氏

▽同29日（火）中央公民館＝「住み方は生き方の表現」奈良教育大学教授・田中恒子氏

▽12月7日（水）中央公民館＝「私たちの暮しと生活設計」生活評論家丸野豊子氏

時間はいずれも午後1時半～3時。受講者は全日程に出席できる婦人百人。受講希望者は、はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて11月12日までに必着で市商工課（〒630二条大路南一丁目一―一、☎㉞一一一一）へ。定員超過のときは抽選。

くらしの医学

慢性硬膜下血腫

酒好き・年配の男性が頭を打てば発病し易い

血圧が高く、脳血管や心臓にも異常があって、診察に通うおじいさんがいました。その日の状態は平素とかなり違っており、待合室でイスにも掛けず、ぼんやりと突っ立ったままで、名前を呼んでもなかなか診察室へ入ってきません。歩くのもトボトボとして歩きにくそうだし、話しかけても要領を得ず、トンチンカンな返事しかしませんでした。記憶力も低下している様子で、時間をかけていろいろ聞いたところ、三カ月ほど前に畑道で転んだことがやっとわかりました。

症状などから考えて脳のどこかに異常があると思われました。この老人の場合、まず医師の頭に浮かぶのは慢性硬膜下血腫という病気です。

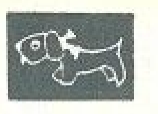
この病気は、年配で、酒を多く飲む男性が、頭を打った時に起こしやすいとされています。時には頭を打ったことをすら覚えていない場合もあります。また、肝臓病や糖尿病のような全身的な病気と一緒に起こることもあります。

病気の本質は、頭蓋骨（ずがいこつ）の内面にある脳をつつむ膜（硬膜）と、脳の表面との間に血液がたまったものです。頭を打つなどして、硬膜の下を走っている細い静脈が破れて出血が徐々に始まり、やがてこれがうすい膜におおわれ、さらに大きくなって脳を表面から圧迫し始めます。その時にさきほどのような症状が出てきます。そのまま放っておくと、意識を失って呼吸困難などで死亡します。しかし、早期に正しい診断によって治療を受ければほとんど後遺症を残さずに治ります。

このような場合、高齢を理由に、また親子断絶という家庭事情などのために手術等が行われなかったり、延期されたりする場合があるのはまことに残念なことです。この人の場合も、本人や家族に十分に説明し、すぐに適切な病院を紹介したにもかかわらず、実際に治療が行われたのは一カ月もたってからでした。このため脳萎縮の程度がだんだんひどくなり、一年ばかりたって死亡されました。

一般に、こどもの病気のときは親が付き添ってくるのに、親（老人）のときは子は無関心であったり、うるさがる傾向があります。老人の日ごろの生活を十分に把握して、医療機関との連絡を密にして置くことが親孝行といえましょう。

＝資料は県医師会提供



ワンワンセンター

……15日……

不用犬の野犬化を防ぐためのワンワンセンターが11月15日（火）に奈良保健所（西木辻町、☎㉓六一七一）で開かれます。

不用犬は午前9時～10時受付。午前10時～10時半は新飼育者の犬の飼い方教室。午前10時半～11時は新飼育者へ引き渡します。

乳ガン検診

＝奈良保健所で＝

検診＝毎月第二・四月曜日午後1時。検診料四百円。定員五十人。対象＝30歳以上。受診申し込み＝往復はがきに受診科目、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて市内西木辻町、奈良保健所（☎㉓六一七一）へ。

県の改正最低賃金

10月31日から実施

県の改正最低賃金が10月31日から実施されました。県内のすべての事業所（公務員関係を除く）では、この最低賃金未満では労働者を雇用できません。

【改正最低賃金額】一日三千六百五十二円（賃金の大部分が時間制を適用されている人については一時間四百五十七円）。産業、職種にかかわりなく県内のすべての使用者、労働者に適用されます。

ただし、産業別最低賃金が設定されている産業の使用者、労働者は該当する産業別最低賃金（繊維産業の軽作業等については県最低賃金）が適用されます。

なお、最低賃金にはつぎの賃金は算入されません。

①精・皆勤手当、通勤手当、家族手当
②賞与、期末手当など臨時に支払われる賃金
③一カ月をこえる期間ごとに支払われる賃金
④時間外、休日、深夜労働に対する割増賃金

＝奈良労働基準局

11月15日～30日は固定資産税（第三期分）の納期です

大型有害ゴミ収集　11月

11月の収集はつぎの地区を予定しています（事情により若干変更することもあります）。●収集日は約1週間前に該当自治会へ通知します。

なお、有害ゴミ（蛍光管など）は「有害」と表示して、大型ゴミと区別して出してください。

大安寺・大安寺西（一部）・鼓阪・右京・神功・朱雀・左京・平城・平城西・あやめ池・西大寺北（一部）・伏見（一部）・済美（一部）・佐保・都跡（一部）